

# あらぐさニュース

2023.04

Vol.89

発行/社会福祉法人あらぐさ福祉会 〒362-0051 上尾市地頭方438-6 TEL048-726-5720 048-726-5862(支援センター直通)

## 3年ぶりにボウリング大会をやりました!!



1月に新春ボウリング大会として企画されていましたが、コロナウイルスの影響で1度中止になりました。3年ぶりに開催できることを仲間たちがとても楽しみにしているので、白紙にはせず延期という形で企画をしていましたが、この度春の大ボウリング大会として無事に開催することができました!

久しぶりのボウリング大会ということで、皆さんとても楽しみにしていたようです。前日や当日の午前中にボールを転がしてピンを倒す練習をしていたなかまもいました。

会場に着いて、自分に合うサイズのシューズを借りたり使いたいボールを選んだりゲームがスタートする前からワクワクしていました。いよいよゲームが始まると、みんな一斉にボールを投げ始めました。沢山のピンを倒すにはどのように転がしたらいいのか投げる強さを変えたり、投げる場所を変えたりと試行錯誤しながら楽しんでいました。ストライクが出たらハイタッチをしたりみんなでワイワイ大喜びしていました。

なかま達が笑顔でとても楽しめたイベントになって良かったです。これからもなかま達と色々なイベントを楽しんでいきたいです。

(川村)

# 春のボウリング大会

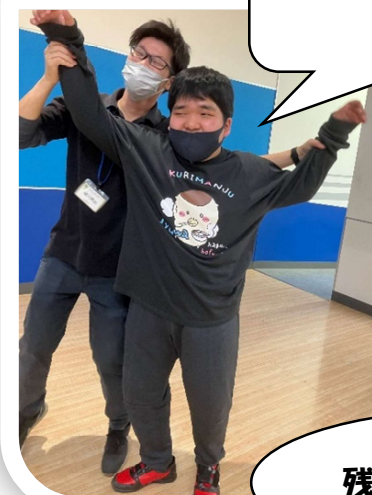
さあ、  
投げると

いっぱい倒れるかな？



やったー！ストライク！

よし！この角度！！



残念、あと1ピン...



IC	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	TOTAL	HS			
イシ	8	9	8	4	8	5	6	3	5	4	8	1	4	74	
コウキ	8	17	25	29	37	42	51	60	69	74			74		
コウキ	15	3	6	7	16	2	7	5	2	5	1	4	2	33	79
ウゲキ	6	15	23	31	38	45	51	57	73	79			79		
ウゲキ	X	8	X	9	9	8	7	X	3	5	9	-	131		
ウゲキ	18	26	45	54	72	89	96	114	122	131			131		



最高スコアは鵜崎さんの131でした！





# 2023年度 あらぐさの取り 組み

2023年度が始まりました。労働と教育の場「雑草」は、35名（生活介護23名 就労継続支援B型12名）と一緒に仕事へ取り組みます。7月にはあらぐさまつりが復活します。コロナ前の活動のように、楽しくやりがいのあるさまざまな取り組みをしていきたいと思えます。

## 生活介護事業

主に、健康面や体力の維持・向上、生活面での技能の向上を目指していきます。具体的には、ウォーキングや創作活動、ミニ運動会、簡単なおやつ作りに取り組みます。

## 就労継続支援B型事業

作業の技術をより高められるよう活動します。仕事に取り組むうえでのマナーやルールを学習し、会社見学を行いながら働くことへの意欲も培っていきます。



【今年度は集合写真を何回とれるかな？】

## 菓子作業班

ケーキ作業とクッキー作業に取り組みます。日々、おいしいお菓子づくりに励み、各特別支援学校や上尾市役所等への販売活動をしていきます。販売は、こぱん☆あらぐさと協力して取り組みます。お中元・お歳暮やクリスマス・バレンタイン等、季節商品にも力を入れていきます。

※材料費高騰のため、あらぐさの商品も値上げとなりました。

## リサイクルA班

缶プレス作業、内職作業、空き缶回収や古紙・ダンボール回収に取り組みます。利用者は、暑さや寒さ、雨や風にも負けず、たくましく働いています。今年度も利用者たちがいきいきと働くことができるように作業の工夫や安全な環境作りを行っていききたいと思えます。

## リサイクルB班

缶やペットボトルの選別作業に取り組みます。みんな見通しをもってしっかりと作業に取り組んでいます。こだわりや障害により日常的に作業を継続することが難しい利用者に対しても安心して過ごすことができるようにゆとりをもった時間を設定して支援します。

(高橋好治)

# 2023年度 こぱん☆あらぐさの取り組み

今年度もこぱん☆あらぐさは8名での活動です。昨年度から引き続き変わりありません。元気いっぱい店舗営業や販売活動に取り組みます。おいしいと言ってくれるお客様をもっともっと増やせるように新商品を増やします。「こんなパンが食べたい」「これを作ってほしい」などのお客様の声をお待ちしています。

**営業日** 月曜日から金曜日

**営業時間** 10:00~15:30

**月に2回程度 「子ども食堂」**

**定期開催 「やぎさん一座の紙芝居」**

## 【5周年のこぱんへ いらっしゃーい!】

こぱんをオープンして丸5年が経過しました。利用者たちは毎日せっせと仕事しているのでパンを作る腕前は上がる一方です。



今年度も平日の生協二ツ宮店への納品、富士見幼稚園への納品、毎週月曜日の上尾市役所ふれあいの店前での販売などががんばっていきます。この4月から材料費高騰のための値上げをしなければならなくなりましたが、値段に見合うパン作りに取り組んでいきます。

(接客に自信のあるこぱん店員です。ぜひ来てください。)

(高橋好治)

## 【後援会のページ】

3月に仲間たちに特別ボーナスが支給され、欲しかった物を買って喜んでいと話して下さった家族がいました。みんな熱心に仕事に励んでいるので、このボーナスは頑張った証です。後援会は頑張っている仲間・職員・家族のために今年度(2023年度)も一生懸命活動していきたいと思ひます。

昨年度はコロナ禍ではありましたが制限が緩和され、イベントが再開されました。今までとは少し違つたイベントではありましたが、それでも模擬店ができる日を心待ちにしていたので、朝から気合いを入れ頑張りました。お客様からも「また模擬店ができて良かったですね」と待ってくれた方もいて嬉しかったです。

また学習会も行われ、関心のあるテーマでしたので、皆熱心に話を聞いていました。今年度も知識を広げられる学習会を開けるようにしていきたいと思ひます。

さて7月は待ちに待った「あらぐさまつり」が開催される予定です。模擬店・バザーで盛り上げたいと思ひます。そして8月には「きょうされん全国大会」が行われます。障害者権利条約のこと、働くこと、暮らしのことなど他にも沢山の学習内容になっていますのでしっかり学んできたいと思ひます。

コロナがなくなったわけではありせんので、感染に気を付けながら活動をしていきますので、今年度もご支援ご協力をよろしくお願ひ致します。

後援会会長 高橋弘美

### わくわく公園祭り(3月5日 上尾運動公園)

なんと7年ぶりの開催です。しかし会場では調理はできないということで、雑草で調理・パック詰めをすることにになりました。テントとは違い広い場所で野菜切り・パック詰めができ、また手伝い人数も多かったので手順良くスムーズにできました。ただ、会場に運ばなければならず4往復しました。

会場は、晴天で風も無く穏やかな気候で、お客様も多くにぎわっていました。ほとんどがフリーマーケットで、食品を扱っているお店が少なかったこともあり、焼きそば、チヂミは大人気であつという間に売り切れてしまいました。次の焼きそばが届くのを待って下さっていた方も多く、嬉しく思ひました。届いた途端に行列ができ、昼過ぎには完売してしまいました。

## 「成年後見制度について」の研修会（3月14日 上尾市コミセン集会室1）

上尾市社会福祉協議会 成年後見センター センター長 北村光由氏  
相談員 丸山広子氏

家族・職員・役員と大勢出席してくれました。「子の親亡きあとの問題、しかし親が元気のうちに備えておかなければならない問題」と関心のあるテーマなので、皆さん熱心に聞き入っていました。

- ・事例を交え分かりやすく説明してくれたので理解できました。
  - ・お金のやり取りだけではないのだなということが分かりました。
  - ・この機会に家族と話し合おうと思いました。
  - ・社協にセンターがあり心強いです。
- など感想を寄せて下さいました。

これからも勉強になったと思えるような学習・研修の機会を作っていきたいと思います。

### 第24回 後援会定期総会のお知らせ

2023年5月20日（土）

13時30分～

上尾公民館 集会室501

ご出席の程よろしくお願い致します。

### 2022年度賛助会員(2022年12月～2023年3月)

ありがとうございました。引き続き継続の程よろしくお願い致します。

小池重雄 菅原慧子 村田富佐子 小川ふみ江 久保典子 相良美哉子 仲里清志  
森川由美 小口千絵 矢島美代子 飯橋佳代子 鈴木紀代 長井さと美 八巻芳子  
黒田佳代子 前田明世 柳麻由美 岡崎義雄 三神佳子 関美知子 永岡良子  
曳地雅俊 中富英二 鈴木美喜枝 森岡奈緒子 伊藤彰人 吉池航暉 二見ひと美  
高橋美穂 （敬称略、順不同）

# ／新年度を迎えて／



2023年度になりました。新型コロナはまだ終息したわけではありませんが、政府は5月の連休明けから、新型コロナの感染症レベルを季節性インフルエンザと同等の5類に引き下げる方針にしました。この3年間に感染のリスクを抑えるためマスクを着用し3密を避け人との距離をとることを第1としてきたので、この緩和策に戸惑いを感じながらも解放感を感じている方も多いと思います。「雑草」では引き続きマスク着用・手洗い・体調確認・換気など感染症対策は継続しています。ただ地域でのイベントなど昨年から再開されているものもあり参加し始めています。この3年間どのイベントも中止していたためどこも活気があり、やはり人との触れ合いは人が生きていくうえで欠かせないものの一つであることを再認識させられました。

今年度は「あらぐさ福祉会」としても3年ぶりに地域の方にも呼び掛け「あらぐさ祭り」を開催することにしました。もちろん感染症対策をしての開催なのでこれまでと同じように行うのは難しいですが、工夫を凝らして地域の方に楽しんでもらえるような企画を検討しています。7月8日〈土〉に「七夕まつり」として行います。どうぞ久しぶりに「雑草」へお出かけください。

さて、現在「あらぐさ福祉会」は深刻な人手不足に直面しています。様々な事情で退職した職員の補充が思うように進んでいないのです。この間、大手企業の採用サイトに掲載したりしましたが、費用をかけた割には全く反応なしの現状です。他に手はないかと様々模索中です。どうやら職員不足は「あらぐさ福祉会」だけの問題ではなく、障害の分野はもちろん、介護・保育・医療などケアをする仕事の現場は全国的に深刻な様相です。

2019年の出生数は約86万人で過去最低だったとのショッキングな報告がありました。このまま少子化が進めば、働き手不足が予想され社会が回らなくなると警鐘がならされています。異次元の少子化対策は待ったなしです。私たちケアの現場にはその影響がいち早く到来している感があります。政府として自ら旗振りをして賃上げを企業に呼び掛けていましたが、私たち福祉の現場では自己努力での賃上げは限界もあり、手当を増やすくらいが精一杯です。まずは国が報酬をあげ職員の待遇を改善することが、職員不足解消への最速の道だと痛感しています。私たち法人も参加している「きょうされん」などと連携しながら国に呼びかけ続けていきたいと思っています。

今年度は法人として新規事業の立ち上げをスタートさせる予定ですが、職員不足の状況下、現場を回すことが精一杯で新規事業に向けた余力がない現状が正直なところです。それでも知恵を出し合いながら少しずつでも歩みを進ませたいと考えているところですので、後援会の皆様のお力も是非お貸しいただきたいと切に願っております。よろしく願いいたします。

最後に、前回のニュースでお伝えした「きょうされん」の全国大会が、この8月30日、31日に大宮のソニックシティで開催されます。約2,500人が集まる大きな大会です。「あらぐさ福祉会」からも職員たちが実行委員になり大会の運営の一端を担っています。職員や仲間たちが全国の法人の職員や仲間たちと交流することで、何かを学べる機会になることを願っています。

(理事長 岩淵敦子)



# 『第1クローバーハウス通信…春』

## ◆第1クローバーハウスとは…

上尾市領家の住宅街にある、知的障害者の共同生活の場です。2002年11月に開所し、2015年11月に建物が新しくなりました。現在7人の男性利用者が生活しています。365日開所です。



〈 ある春の日、そうだ 群馬に行こう！ 〉

春のひざしが暖かくなってきた3月の日曜日。絶好の天気だったので群馬県のジャパンスネークセンターに行ってきました。みんなで県外まで出かけたのは本当に久しぶりでした。

現地に到着すると駐車場には多くの車。園内の中でも特に毒蛇コーナーは見学者でぎゅうぎゅうになるくらいのにぎわいでした。その中でみんなはじっくりと蛇の動きやえさを食べているところを見学してきました。残念だったのは、野外飼育場の蛇が見られなかったこと。暖かくなったとはいえ蛇が活動するにはまだまだ寒かったようです。今回はあらぐさで行った旅行以来の外出。日帰り旅行気分が味わえたのは良かったです。

(高橋)

今年もきれいな桜が咲きましたね🌸私の所属しているお菓子班では、お花見に行こう！とお団子とチュロスを作り、それらを持って花の丘公園へ。公園はたくさんの方が来ていて、お花見を楽しんでいました。満開の桜の下でお菓子とジュースで乾杯。みんなぺろりと完食！やはり花より団子ようです(笑)以前は公園での飲食や宴会が禁止されていたことを思うと、だんだんとコロナ前の生活に戻りつつあることを改めて実感しました。来年は、また全体でお花見が開催できることを願っております。

(樋口)